

特 記 仕 様 書

(測 量 業 務)

第1条 総 則

1. 本特記仕様書は、「地方創生道整備推進交付金事業 市道横峯打出口線用地測量業務委託」（以下本業務という）に適用する。
2. 本業務の履行にあたっては、本特記仕様書によるほか鹿児島県公共測量作業規程並びに同規程に係る運用基準（以下「規程」という）、測量作業共通仕様書及び監督職員の指示によるものとする。
3. 本業務の履行期限は、令和7年11月28日限りとする。

第2条 担当技術者

1. 担当技術者とは、主任技術者のもとで業務を担当する者で、受注者が定めた者をいう。ただし、測量業務における「担当技術者」は、測量法に基づく測量士又は測量士補の有資格者でなければならない。
2. 受注者は、業務の実施にあたって担当技術者を定める場合は、その氏名その他必要な事項を監督職員に提出する者とする。
なお、担当技術者が複数にわたる場合は3名までとする。
3. 担当技術者は、設計図書に基づき、適正に業務を実施しなければならない。

第3条 機器の検定

受注者は、測量に使用する機器について、鹿児島県公共測量作業規程に定める検定に関する技術を有する第三者機関の検定を受け、同機関の発行する検定証明書を提出すること。

第4条 作業計画

受注者は、契約後速やかに作業計画書を作成し作業手前に承諾を受けなければならない。また、作業計画を変更する時も同様とする。

第5条 契約変更

本業務の数量は、別紙「数量総括表」のとおりとするが数量に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ契約変更の対象とする。

第6条 作業地区及び作業量等

本業務における作業地区及び作業量は、次のとおりとする。

- (1) 作業地区：南九州市（大字）知覧町瀬世 地内 （別添図面参照）
- (2) 作 業 量： 用地測量 復元測量等 0.61 万㎡

第7条 精度管理

鹿児島県公共測量作業規程第12条3項に定めのある点検測量率は、鹿児島県公共測量作業規程運用基準第12条によるものとする。

第8条 安全管理

測量実施にあたっては関係法規を遵守するとともに、特に道路上の作業時には、交通整理員や安全標識等を設置して、作業中の安全に留意しなければならない。

第9条 成果品

1. 成果品は以下のとおりとする。

- (1) 報告書
- (2) 電子データ（CADデータはSFC形式とする）
- (3) その他 南九州市が必要とする成果品

第10条 電子納品

1. 本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、南九州市HP掲載の「南九州市電子納品の手引き（案）（令和7年4月）：（以下、「手引き」という。）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

2. 手引きに基づいて作成した電子成果品は、電子媒体（原則CD-R）で成果品を提出する場合、正本1部、副本1部の計2部提出する。

電子納品レベル、納品方法及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。